

小学校での性教育について

[意見の趣旨]

- ・児童の発達段階に合わせ、保健教諭や外部講師による包括的性教育を行ってほしい
- ・学校での性教育について協議する場を作り、保護者や地域の理解を推進してほしい
- ・子どもへの性教育とともに保護者や教職員も性教育について学べる場を設けてほしい

[意見の内容]

R5年1月にPTA講習会で助産師の方に来て頂いて“こどもとむきあういのちのおはなし会”という講習会を開きました。この講習会では、講師の方から性を伝える大人の意識の大切さ、親から子どもへの言葉の選び方や伝え方のコツ、言葉の選び方、いつか親元を離れていく子どもにとって、幼いころから性について明るく正しい知識を持つことが、自分の体を自分で守ることができるようにつながること等、子どもたちや性とのむきあい方を学びました。

この講習会を開く際に事前アンケートと事後アンケートをとりました。事前アンケートではお子様の学年、聞いてみたい内容や自由記述による講師への質問を受け付けましたが、保護者の皆様から日々の子育ての中で直面する具体的な悩みの声がたくさん寄せられました。また事後アンケートでは参加してみたの感想、学校で性教育を教えてほしいか、又その理由についてアンケートをとりました。その中で“教えてほしい、しっかり教えてほしい”と回答する意見が97%を占めた事が非常に印象的でした。

このPTA講習会で多くの保護者の方が子育てをする中で性について悩みを持っていることや、保護者が持つ学校教育への期待感を知ることができました。性教育を家庭で行うことは非常に大切です。しかし、小学校に通うすべての子どもが皆等しく包括的性教育を受けることで初めて、一人一人の人権が守られる事に繋がるのではないのでしょうか。

今、子どもたちはタブレットやスマートフォンの普及に伴って、低年齢から誤った性情報に触れやすく、不正確な知識や正しい知識を知らないが故にSNSでのトラブルに巻き込まれたり、性被害者や加害者になってしまう危機に直面しています。包括的性教育を小学校で実施することは、子どもたちにとって身体や性について正しい知識を得るだけではなく、健康や安全、人間関係、人権や多様性の大切さを学び、自分自身と相手を尊重することを学ぶ良い機会となると強く思います。

そして、子ども達を取り巻く保護者や教職員等、私たち大人自身も自らの知識をアップデートすべく、児童と共に性教育について学び、理解を深める機会を学校で設ける事で、より保護者と地域、学校全体での共通理解が深まり、協議していくことができる土壌を生むと思います。

以上のことから、冒頭に述べた3点を意見として述べさせていただきます。ご検討の程よろしくお願い致します。

以上



令和4年 2月吉日
枚方市立五常小学校PTA
会長 葛田 真郷
文化交流委員会

こどもとおきあう いのちのおはなし会のご報告

平素よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。
先日開催された「こどもとおきあう いのちのおはなし会」では多数の方にご参加いただき、
またたくさんのあたたかいご感想をありがとうございました。
当日の講習会の様子、アンケート結果、子供に伝えるときのツールとしてふわりさんからご紹介していただいた
絵本のリストを掲載しますので、会場に来られなかった皆様もぜひご参考にしていただけたら幸いです。

とても大切な性との向き合い方 自分で自分を守る人間へ

講習会では、性を伝える大人の意識の大切さ、親から子どもへの言葉の選び方や伝え方のコツ、言葉の選び方、
いつか親元を離れていく子どもにとって、幼いころから性について明るく正しい知識を持つことが、自分の体を自分
で守ることができるようにつながること等、とても大切な性との向き合い方を学びました。

ふわりさんからこんな事を学びました！！



『プライベートゾーンってなに？』

『下着をつけているところをプライベートゾーンと言います。命の元が入っていて
とても大事なところだから守っているよ。プライベートゾーンは自分で見たり、触っ
たりするのはいいけど、他の人には簡単に触らせたり見せたりしないよ。』

(子ども向けデモ)

※絵本「おちんちんのえほん」や「あっ! そうなんだ! 性と生」が参考になります



何歳から子ども達に性教育をしたらいいか

幼児期から。「赤ちゃんはどこからくるの?」「どうしておちんちんがあるの?」と
性や身体に関する質問が出たときがそのタイミングです。
間違った情報が性のイメージとして入る前に、信頼している大人の口から正しいお
話を伝えられると良いです。子ども達に『あなたが生まれてきてくれてとても嬉しく
て幸せ。うまれて来てくれて本当にありがとう』という気持ちが伝われば大丈夫。
何歳からでもどんなやり方でも間違いはないです。

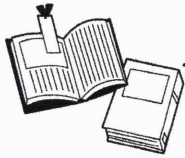


『いい質問だね!』と受け止めよう

子どもに伝えるチャンスは日常にたくさんあります。
お誕生日、トイレの時、お風呂の時、身近に赤ちゃんが生まれたとき。
いつも通りのテンションでお話してあげるとよく、絵本があるとより伝えやすいです。
子どもから性や身体に関する質問があった時に露骨にいやな顔をしたりごまかした
りすると、子どもは聞いちゃダメな事、なんとなく悪いことだと思ってしまうので、とっ
さに質問に答えられない時はまず『いい質問だね!!』と受け止めてあげましょう。

ーいただいたご感想ー

- ・帰ってすぐにお話をしてあげたいと思えるほどでした。唯一の存在である子どもたちを更に大切に愛してあげたいと思いました。声かけやコツ、一緒になって考えるなど、他の内容も全てが私自身も良い知識となりました。性教育自体が悪いことでなく、すばらしいものだと感じられました。
- ・とてもわかりやすく、感動的でした。性はあたりまえのこと、幸せになることを大切に子供に伝えていきたいと思いました。
- ・低学年のうちからふわりさんのような内容で楽しく学ぶことができる。高学年からではなく、低学年の何もわからないうちに行うことが良いのかなと感じました。五常にも来てほしいと思いました。
- ・自分の口からどう説明していいかわからないことも多いので、本や絵本など、それぞれの年齢に応じたものを知れてよかったです。改めて、命の大切さと、子供の存在が自分にとって大切なものかを感じることができました。帰ったら、出産時の写真を子供と一緒に見てみようと思いました。
- ・どのように答えていいかわからなかった事や、答えにくい事も、まずうけとめるという事が大切、わからない事はわからないと伝えて良いという事で良いとわかって、気持ちもラクになりました。絵本などのツールも上手に使っていただければ良いとおもいました。



五常小学校PTA講習会【こどもとむきあう いのちのおはなし会】

－ふわりさんおすすめの絵本リスト－

■幼児、小学校低学年向け

いいタッチわるいタッチ
あなたはちっともわるくない
生まれてきてくれてありがとう
ようこそ！あかちゃん せかいじゅうの家族のはじまりのおはなし

うちにあかちゃんがうまれるの
あっ！そうなんだ！性と生
おちんちんのえほん
ぼくのはなし
せっくすのえほん
だいじだいじどーこだ？

安藤由紀
安藤由紀
鈴木せい子
レイチェルグリーンナー
いとうえみこ
浅井春夫 他
やまもとなおひで
和歌山静子
みずのつきこ 他
遠見オ希子

復刊ドットコム
復刊ドットコム
ぱすてる書房
大月書店
ポプラ社
エイデル研究所
ポプラ社
童心社
あゆみ出版
大泉書店

■小学校中学年～高学年向け

おれたちロケット少年団
知ってる？思春期の心とカラダミラクルAge
わたしたちの「女の子」レッスン
マンガでわかるオトコの子の「性」 思春期男子へ13のレッスン

13歳までに伝えたい男の子の心と体のこと
13歳までに伝えたい女の子の心と体のこと
知ってる？女の子のカラダ ポップコーン天使

手丸かのこ
手丸かのこ
WILLこども知育研究所
染矢明日香 他
やまがたてるえ
やまがたてるえ
手丸かのこ

子どもの未来社
子どもの未来社
金の星社
合同出版
かんき出版
かんき出版
子どもの未来社

■中学生以上向け

ティーンズ・ポディーブック
これからの男の子たちへ
ジェームズ・ドーソンの下半身入門
15歳までの女の子に伝えたい自分の体と心の守り方

北村邦夫
太田啓子
ジェームズ・ドーソン
やまがたてるえ

中央公論新社
大月書店
太郎次郎社エディタス
かんき出版

■保護者向け

やらねばならぬと思いつつ
親子で考えるから楽しい！世界で学ばれている性教育
おうち性教育ははじめます 一番やさしい！防犯・SEX・命の伝え方
思春期の性と恋愛 子どもたちの頭の中がこんなことになっているなんて！
男子は、みんな宇宙人 世界一わかりやすい男の子の性教育

シオリーヌ
上村彰子
フクチマミ
アクロストン
のじまなみ

ハガツサ ブック
講談社
KADOKAWA
主婦の友社
日本能率協会
マネジメントセンター

今、子どもたちや親に向けたわかりやすい性教育の本がたくさん出版されています。
今回ふわりさんおすすめの、幼児から小学生に向けて性をわかりやすく伝える絵本や
児童書、伝える側の大人が参考にしてほしい本をリストにしました。

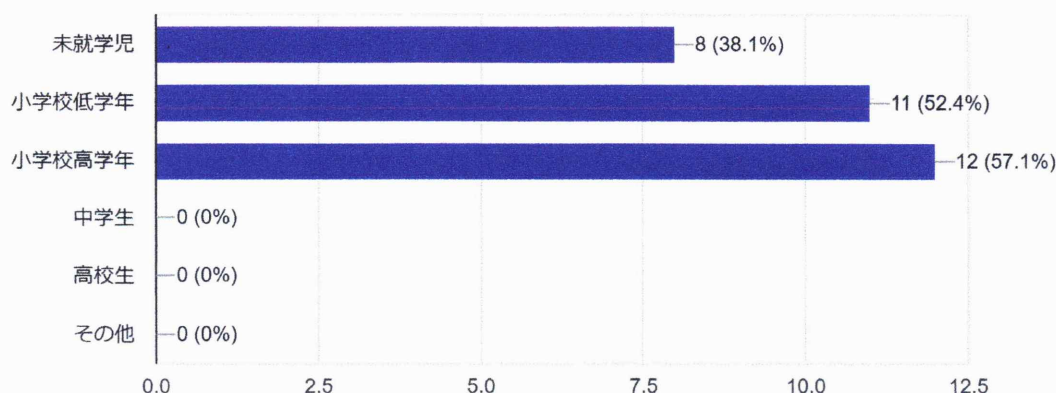
ぜひお子様の年齢やご家庭の考え方に合わせて、手に取ってみてください。



こどもとむきあういのちのおはなし会 －事前アンケート結果－

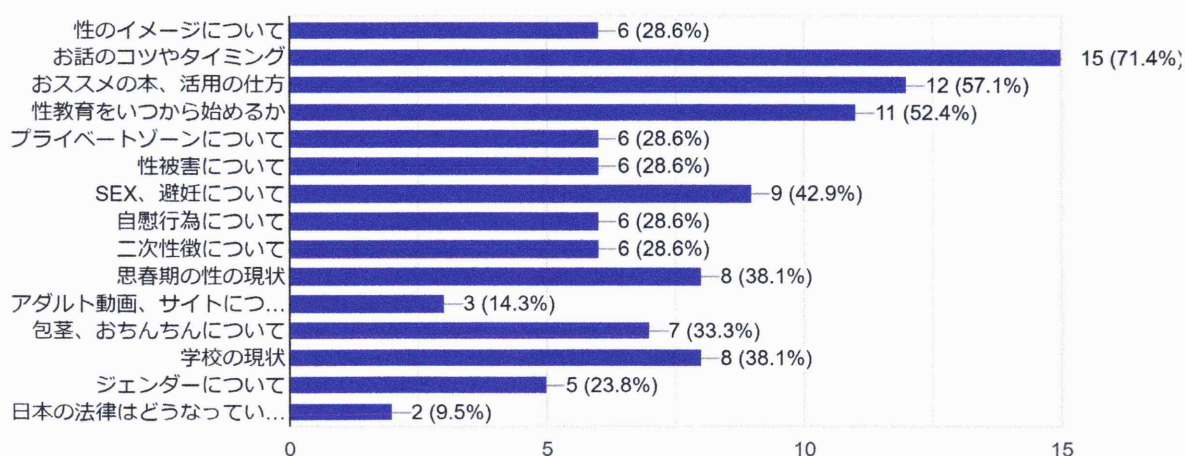
お子様の学年を選択してください（複数選択可）

21件の回答



聞いてみたい内容、興味のあるトピックを選択してください（複数選択可）

21件の回答



【聞きたいトピックランキング】 ※質問ありのトピックにマーカー

No.1	お話のコツやタイミング	15件
No.2	おススメの本、活用の仕方	12件
No.3	性教育をいつから始めるか	11件
No.4	SEX、避妊について	9件
No.5	思春期の性の現状	8件
	学校の現状	
No.6	包茎、おちんちんについて	7件
No.7	性のイメージについて	6件
	プライベートゾーンについて	
	性被害について	
	自慰行為について	
	二次性徴について	
No.8	ジェンダーについて	5件
No.9	アダルト動画、サイトについて	3件
No.10	日本の法律はどうなっているのか	2件

－事前アンケートで頂いた質問－

【お話のコツやタイミング】

<個別質問対応>

図書館で、手塚治虫さんの漫画や石ノ森章太郎さんの漫画 日本の古典シリーズなどを、子どもが関心を持って知らないうちに自分で手にとって読んでいました。

裸の女性や性交の場面もあり驚いたのですが、このような本を子どもが読んでよいのか、子どもに悪い影響があるのか、親が止めるべきなのか、どうしたらよいかわかりませんでした。

どんな風に考えればよいか、お考えをお聞かせください。

週3で通うお教室の通りに家族向けではないホテルがあり、電飾が綺麗で泊まりたいと毎回言いますが回答に困ります

男女の身体の違いについて。

胸や股を触ってくるのをやめさせるにはどう説明したらいいか。

うんちやおちんちんと言うのをやめさせるにはどうしたらいいか。

<お話のタイミング>

今小学校4年生と幼稚園年長の子供がいます。それぞれどのようなアプローチで命のお話をしていけばいいですか？

兄妹がいる場合の性教育は、同じくタイミング・同じ内容で問題ないのでしょうか？

家庭でどんなタイミングで性教育を始めたらいいですか？？

性教育について、年齢など、どのタイミングで話すべきかも教えてもらいたいです。

<どうやって伝えるか>

性教育について、どのように伝えたら良いのか知りたいです。

こどもに性に関する事を聞かれたときの返答の仕方

言葉の選択について

自分も相手も大切にすべき、されるべき意識を持って性について理解させたいので、その方法やコツを知りたいです。

何からどう入ればいいのかも分からないので、よくある質問集などあれば、頂けたら嬉しいです。

<赤ちゃん>

赤ちゃんはどうやったらできるのか聞かれた時の対応の仕方。科学的な話までするのか。

精子と卵子が受精したらあかちゃんできるって習ったけど、どうしたらできるん？って子供にきかれた時の答え方など

子供達に赤ちゃんはどこから来るの？と質問されるのですが、伝え方をどのようにお話ししたらいいのか教えて下さい。

子どもたちが立ち会い出産を経験したので赤ちゃんはどうやって産まれるか、興味を示しています。包み隠さず教えたいのですが、どのように話をすすめていくべきか、自信がありません。

<心構え>

子供たちが性に興味が出てきたとき、親としてどういう構えをしておけばいいのか？

【アダルトサイト】

スマホやパソコンの広告に性的なものが出てきたときに、「なにこれ？」と聞かれます。

どのように説明すればよいでしょうか。

またそういう広告をタップして、アダルトサイトを見ている場合どのように声がけ、注意すればよいでしょうか。

【自慰行為】

私の下の娘は今5歳です。3歳前からボールを股に挟んでユラユラとバランスをとっている事があります。これが自慰行為だと気づいたのが一年程前でどうしたらいいのか分かりません。怒ってはいけないという事を聞いた事があるので、他に気を逸らすように言葉をかけますが、その時だけ止めてまたすぐにやり始めます。この先、どうなるのか気になり心配です。見守るしかないのでしょうか？やめさせた方がいいのであればそれはどのようにしたらいいのでしょうか？良い方法があれば知りたいです。

【二次性徴】

男の子にも生理のお話等について家庭で教えるべきでしょうか？
男の子の二次性徴とはどんなものですか？

【プライベートゾーン】

最近自分が生まれてきたところ母の膣を見たいと言い、見せていいものか悩んで見せてません(小3・1の男の子兄弟)

未だに毎日おっぱいを触られ本当に苦痛です。
二男が寝る時も起きている時も来るので、時々激怒しますが効果がありません。
近所のお婆さんや祖母のことも触ります。
お婆さんたちは喜んでいます。
主人が時々見かねて、二男のおちんちんを服の上から嫌と言うまで触り、二男がお母さんにも同じ事してると伝えても効果がありません。
生理前後は本当に嫌で叩いてしまいます。

【学校の現状】

<学校での性教育>

公立小学校の性教育はどうなっているのか、どこまで教えているのか

学校で先生が子供たちに行う性教育はどんなことを教えているのでしょうか？

<子どもたちへの講義>

直接子供に講義して頂く機会などはありませんか？

小学校で直接こどもたちにいのちのおはなし会をしてもらえる機会はありませんか？

<内容について>

助産師さんが学校でこども達にいのちのおはなしをする意義は何か

学校の先生の性教育と助産師さんの性教育はどう違うのか

小学校で性教育がなぜ必要なのか

家庭や小学校で性教育をすることで子どもたちにとってどういう効果がありますか？

【その他】

先月ですが「開業助産師さんによる性教育」の授業があった中学校に赤ちゃんゲストとして参加しました。
その時に、このような活動があることをはじめて知りました。とても大切なことなのに、どこか伝えるにくい。
そこにわかりやすい言葉や様々なグッズを使ってお話してくださる活動には本当に感謝いたします。
ありがとうございます！

自分がそこまで深く考えていないので、お話を聞いてから色々考えると思う

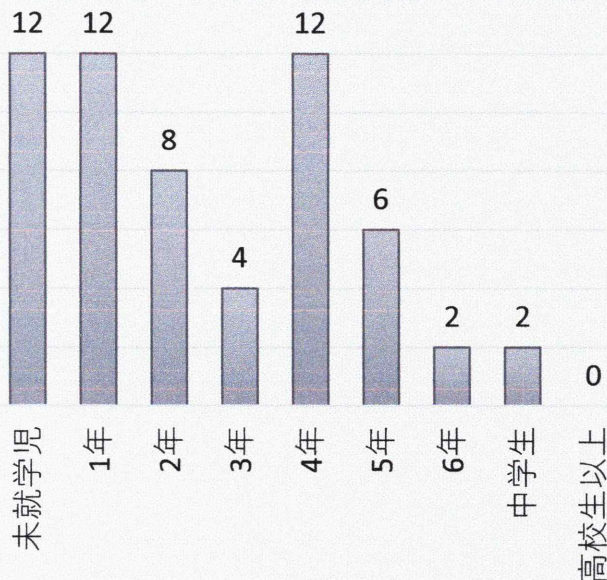
こどもとむきあういのちのおはなし会 ―講義後アンケート結果―

文化交流委員会

①出席者数

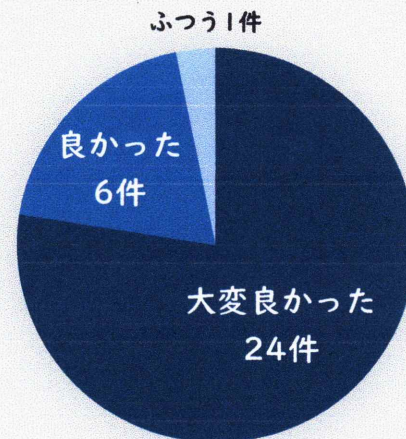
講習会出席者数 32名
アンケート提出 31件

②子どもの年齢層



④参加してみたの感想

・アンケート回答（一つ選択）
 大変良かった 24件
 良かった 6件
 ふつう 1件
 あまり良くなかった 0件
 良くなかった 0件

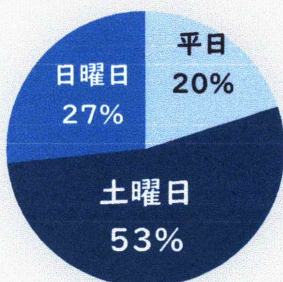


良かった、大変良かった
と回答した人が

97%

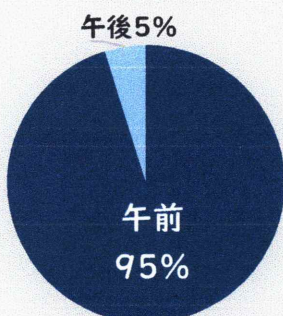
③講習会の開催日時について

・アンケート回答（複数可）
 平日 9件 午前 20件
 土曜日 24件 午後 1件
 日曜日 12件



土日希望が

80%

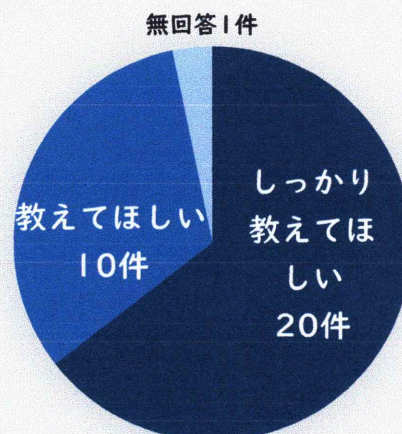


午前希望が

95%

⑤学校で性教育を教えてほしいか

・アンケート回答（一つ選択）
 しっかり教えてほしい 20件
 教えてほしい 10件
 あんまり教えてほしくない 0件
 教えてほしくない 0件
 無回答 1件



教えてほしい、しっかり教えてほしい
と回答した人が

97%

④参加してみての感想 |

帰ってすぐにお話をしてあげたいと思えるほどでした。
唯一の存在である子どもたちを更に大切に愛してあげたいと思いました。
声かけやコツ、一緒になって考えるなど、他の内容も全てが私自身も良い知識となりました。
性教育自体が悪いことでなく、素晴らしいものだと感じられました。ありがとうございました。

とてもわかりやすい言葉とトーンで話を進めていただいたので、知識や、コツはもちろん、気持ち的にもずっと入ってきました。何より、ふわりさん、お二人のお人柄と、性に向き合ってほしい、命の大切さを伝えたいという想いが、短時間ながらも伝わってきて、心あたまる時間でした。
ありがとうございました。

ふわりさんの活動を知っていたので、直接聞けてよかったです。話をする時の参考にできる事が沢山あって勉強になりました。本や情報も沢山あって迷うので、おすすめの物を参考にしたいと思います。

・子供への話し方がとても参考になりました。
昨日も聞かれて答え方に困ったので、さっそく実践してみようと思います。
・お話や動画を観て、子供にもっと優しく接しようと、改めて出産時の喜びを思い出しました。
ありがとうございました。

とてもわかりやすく、感動的でした。性はあたりまえのこと、幸せになることを大切に子供に伝えていきたいと思いました。ありがとうございました。

子供向けのデモがたくさんあったので、実際にどうやって子供に話をしてあげればいいのかをイメージすることができました。身構えずにあなただけ生まれてきてくれて、本当に幸せだということを感じて家庭で性教育をしていきたいと思いました。
今日はお話のコツや、その他、性のことを色々知れた事と、子供たちを産んだ時のことを思い出して、我が子に改めて生まれてきてくれてありがとう。と言う気持ちになれたのがすごく嬉しかったです。ぜひ子供たちにも直接伝えてもらいたいです。ありがとうございました。

とても興味のある話なのに、どのように教える、伝えることが…と悩んでいたのが、参考になりました。少しずつ子供たちに話をしていましたが、明日からはドンドン話をしていきたいと思っています。

子供と一緒に受けられてよかった。

全体的にととてもためになりました。どうやって伝えればいいのかと知りたくて参加しましたが、伝え方はもちろん、性犯罪についての説明や、性交の方法の説明の仕方や、アダルトビデオなんかについての伝え方もとてもよくわかりました。

ダメと言うのも違うし（子供は絶対納得しない）と思っていたのですが、とてもストンとお話が入ってきました。少しは子供たちにわかりやすくお話ができるようになったかな？と思えるようになりました。

自分の口からどう説明していいかわからないことも多いので、本や絵本など、それぞれの年齢に応じたものを知れてよかったです。改めて、命の大切さと、子供の存在が自分にとって大切なものかを感じることができました。帰ったら、出産時の写真を子供と一緒に見てみようと思いました😊
ありがとうございました。子供にも一緒に聞いて欲しかったなーと思いました。

言葉の選び方表現は非常に勉強になりました。保護者向けだと、性教育内容よりも、子供の伝え方を増やしていただけるとよかったです。（こんな時はこう答えるといい、みたいなモデルケース紹介とか）

前半、子供向けに話をされているところが少し気になりましたが、幅広い内容（自慰行為、SOGI等）を紹介してもらえたので、気をつけて見ようと思いました。子供向けの内容は子供向けに実施してもらいたいと思いました。

子供にどのように伝えるのか、その手だてとなる参考となる講義であった。が、一部性犯罪についての時間が長かったので（P3の部分）もっと子供に対して話す内容（説明できる内容）をもっと取り入れて欲しい。と思いました。その後の講義はP4は解剖的なものなので、子供には良いかもしれません。不妊治療が最近よく聞かれるので、それはどういうものかも、子供に対する抗議には入れても良いなあと思いました。皆が自然妊娠する身体とは限らないので。

4年生の女の子なのですが、恋愛に興味が出はじめて、その内容の本（ライトノベル）を読みこんでいて、そろそろそういう話をしないとなーと思っていたので、タイミングよくこういう企画をしてくださったので、伝え方など勉強になりました。

自分のプライベートな事は回答しなくても良い、という考え方で良いことを聞けて、子供にも話しやすくなりました。

どのように答えて良いかわからなかった事や、答えにくい事も、まずうけとめるという事が大切、わからない事はわからないと伝えて良いという事で良いとわかって、気持ちもラクになりました。絵本などのツールも上手に使ってあげれば良いとおもいました。

子どもの自慰行為についてや、包茎についてのお話を聞くことができて、とても参考になりました。「赤ちゃんはどうやってできるの?!」や「どこから出てくるの?」などの質問にどう答えるのが良いのか悩んでいたのも、これからは子どもの気持ちを受け止め、話していきたいと思います。
ありがとうございました!

知識がついてきた子供から、いろんな質問がくるのですが、身体的な事をどこまでどのように伝えようかなと悩んでいましたが、やさしい言葉で伝えていってよいんだということや、ルールを守りながら正しい事を伝えていけばよいという事がわかり、すっきりしました。

両親ともに医療従事者で医学的知識はあるものの、それを伝えるだけでは性教育とはならず、伝え方を悩んでいたため、タイミングやクッション言葉を知れて良かったです。

やさしい言葉に置きかえて、いのちのもと、いのちのたまご、いのちの通り道。男性、女性の体のしくみ、とくちょう。今日の説明はすべてとても良かったです。子どもたちに赤ちゃんはどうやってうまれるの?ときかれたことがありますが、お母さんもうまく説明できないから、図書館でこんど本を借りてくるねというのが精一杯でした。その後、いろいろ調べて本を借りて、家の図書館で借りた本コーナーに並べておきましたが、なかなか一緒に読むには至りませんでした。やさしいことばにおきかえて、母が子に話せるように今日はなることができたと思います。本当に参加して良かったです。ありがとうございました。

保護者向けと理解できていなかったのも、子供を連れてきてしまったが、デモンストレーションや動画、イラスト説明などもあって、興味深く学ぶことができた。声かけや言葉の選び方など難しく思うことも多いが、まずは「いい質問だね!」と伝えること、子供を当事者から外して話すことなど学べて良かった。

大切とは思いつつ話すきっかけがつかめなくて困っていたので、今日の話聞いて心が動かされました。恥ずかしがらずに話してみようと思いました。紹介されていた絵本がよさそうですね。

中学生の子から含めると10年近く小学生の保護者ですが、今までこのような講演会に参加したことは一度もありませんでした。しかし今回は普段働いている私でも日程的に参加しやすく、また内容も関心が高かったので参加してみたところ、とてもとても良かったです。企画していただいた皆さん、素敵な講師の先生をみつけてきていただいた方に感謝しています。ありがとうございました。

中学、高校以来の性教育をプロから学びました。とてもわかりやすい言葉で、やさしい言葉で参加した子供たちへのメッセージを言われていて、家でも使おうと思いました。男子2人に性教育どうしようか悩んでいましたが、なんでも話せる関係をふだんから作ることが大事だと感じました。ラブホテル解答頂きありがとうございました。触って怒ってしまう話、イヤだと思ふ気持ちはイヤでいいんだと言って頂けて嬉しかったです。くり返し話をしたいと思います。

大切なおはなしを、優しくわかりやすく伝えていただき、とてもありがたく、勉強になりました。教えていただいた絵本などから、日ごろからこどもたちに伝えていきたいと思いました。今回のような機会はこどもはもちろんお父さんにも参加してもらいたい。お父さんも参加しやすい案内にしていただけると嬉しいです。

今までも子供に性について聞かれる事があったが、うまく答えられなかった。どういう風に伝えればよいのかとても参考になりました。上の子が思春期に入ってくるので、アダルトサイトや自い行為について伝えておきたいなと思いました。本日はありがとうございました!

子どもからの質問に対してどう伝えるのか、どう話したらいいのか悩むこともあったので、使う時の言葉など分かりやすく知ることができました。

子供の命の誕生について改めてかけがえのないものだと思った。子供の性について無知だったし、デリケートなイメージがあったが、明るく伝えていいんだと分かった。

わかりやすく丁寧につつまかくさず教えてくれたので、子どもにも伝えやすいと思いました。子ども用の実技(デモスト)のお話がイメージできてわかりやすく、明るいイメージがもてた。やさしいことばに置きかえる…というのが明るいイメージがもてて子どもに伝える時も使おうと思えた。

実際にどのように幼児～小学生に教えているのかイメージがついた。上手な伝え方の考え方がわかった。ありがとうございました。

⑤どのような事を学校で子どもたちにおしえてほしいか

今日の講習会のような内容。

講習を受けられるのなら受けさせたいです。

- ・お互いを大切にしあえる、思い合える行為であること。悪ふざけ×。
- ・自分自身で身を守ること
- ・精子、卵子の出会いかなど
- ・知識があったら防げること

とても良かったので、ぜひ学校でもお願いしたい！！！！

男女間の性差であったり、体のちがいを理解して、お互いに思い合えるようになってほしい。性的いじめの加害者にも、被害者にもなってほしくないの。今回のように外部の講師が分かりやすく教えてくれる方が良いのかも。授業として、テストや点数を付けて理解度を求めるようなものではないと思うので、子供たちが興味を持ってくれる内容だと良いなと思う。

- ・sexについても教えて欲しい
- ・赤ちゃんが生まれる大切な行為であることを伝えて欲しい。
- ・性暴力に会ったときどうしたらいいか教えて欲しい

今日、ふわりさんがしていただいたような教育であれば、積極的にしていただきたいです。アダルトと愛しあうsexの違いを伝えることが大切と思いました。

- ・自分でスマホやPCで、アダルトサイトに行っていて、間違った知識を身に付けていく前に、低学年のうちから、今日教えてもらったような正しい、前向きな性の知識をつける機会を作ってほしい！！と思いました。
- 命の現場で働いている専門家だからこそ、伝えることのできる内容もあるんだなあ！！と思ったので、ぜひふわりさんの講義を子供たちが受けることのできる機会を作っていただきたいです。
- ・また、先生方も子供に伝えるに当たってチラシの「心に響く性教育の作り方」をいちど受けてもらいたいなあ！！と思いました。
- ・受精にいたるまでの過程も学校でとりあげるべきだと思いました。

親や身近な人では言いづらい事、もしくは子供も身構えない第三者から話すことによって、すんなり知識が入ってくるのではないかと思います。性犯罪やマスターベーションの仕方や注意する事。性行為についての心構えなど。

本日のようなことで十分です。

sexについて正しい知識を教えて欲しいです。プライベートゾーンについても、今日の講習会のように、小さい子にもわかりやすいと思いました。なかなか上手に説明しにくいので、学校で、このような専門的な方からのお話の時間をとってもらえるのはとても良いと思います。

年にあわせた、教育の本をそろえておいてほしい。（各家庭で全部揃えるのは大変）子供が自分から借りるのも大変だと思うので、回覧みたいな感じで子供が自然に触れるようにしてもらえたらいい。

- ・プライベートゾーン等については、家庭も含めて、機会があったときに繰り返し説明してほしい。
- 命の大切さは、学校や家庭で常に話をする事は、大切なことなんだろうと改めて思いました。

どのように赤ちゃんができるのか

子供にとっても貴重な機会だと思うので。

男女一緒の空間で、今日のデモンストレーションの内容のように、時に楽しく時に真面目に話してもらえたらと思いました。もし子どもを授かった時の子どもの教育にかかるお金の話し（学校にかかるお金や、〇さいでかせげるお金など）もあれば、育てることの大変さ（責任をもつこと）なども伝わっていいかなと思いました。

性的な言葉で相手が嫌だと感じている事はいじめになるということを教えてほしいです。遊びの中でならと思っている子は多いと思います。

1年生から6年生まで、段階に応じた内容で行ってほしい。

家でも話をするが、親と子の関係上、うまく聞き入れてもらえない場合があるため。（自分も親の話なんて聞かなかったため）

やさしいことばにおきかえて、いのちのお話、男女の体のとくちょう、今日のじょさんしの杜ふわりさんを学校に招いて、ぜひお話していただきたいと思っています。

性的被害からの身の守り方。タブレットやスマホなど簡単に情報が入ってくるので、低学年のあまり知識がない素直なうちにセックスなどの性教育の話をする機会ができたなら良いと思う。

- ・性交のことも教えて欲しい。知識
- ・今回の講演の内容を学校の授業にも取り入れてもらえると良いと思いました。

⑤どのような事を学校で子どもたちにおしえてほしいか 2

自分の身を守るために、必要なことは教えてほしい

本日の内容をこども達に伝えてほしいです。たくさんの情報にさらされる前に正しい情報を知ること、大人になった時、相手を思いやり、犯罪に巻き込まれたり、また犯罪をおかしてしまう危険性を減らせるのではないかと思います。

体の体ちょう、変化、妊娠の仕組みは習うと思いますが、どうやったら妊娠するのか、は私は学校できちんと習わず、何となーく知るところとなって、それ(性行為)はタブーな話題なんだと理解してしまいました。

今の子供たちには、そう思っほしくなく、どうして妊娠するのかちゃんと知っておいてほしいです。

それが将来的には妊娠について当事者としてしっかり考えられる大人になり、少子化対策にもつながると思います。

加えて両性ともに月経の仕組みをきちんと教えてほしいです。月経をもっと大切にしてほしい世の中になってほしいです。

大人向けの内容、子供向けの内容と分けず、子供の方が受け取りが豊かです。

子ども連れてこれば良かったです。

親子で。子供だけで。どちらも必要と感じます。また来てください！！

すてきな動画泣きました。ぜひたくさんの子供たちにも見てほしいと思いました。

専門家のメリット、本日実感。本当に有難いです！！

・自分の心、身体を大切にすること

・相手の心、身体も尊重すること

・身体のしくみ

・年れいによって、理解度、感じ方が変わると思うので、定期的に教える機会をもうけていただきたい

NGワードをなくしてほしい。

明るいイメージで伝えてほしい。

1〜4段階までしっかり教えてほしい。

絵本(マンガ)などを使ってもいいのではないか。(対象年齢にあったもの)

リスク(社会問題や背景)なども教えてほしい

低学年のうちからふわりさんのような内容で楽しく学ぶことができる。高学年からではなく、低学年の何もわからないうちに行うことが良いのかなと感じました。五常にも来てほしいと思いました。

生きていく上でとても大切な事だから。

身体の変化について。

正しい知識を身につけてほしい。自分の体のことをしっかり知って、守ってほしい。

2023年度教職員研修感想 ※じょさんしの杜ふわりのinstagramより

・あなたはあなたでいいんだよ。生きているだけで、ただそれだけで尊い。全く共感することばかりのお話でした。しかし現実子どもたちの中で、うざいキモイ死ねという言葉が飛び交っています。悲しい事実です。そういう児童たちにこそ、ふわりさんのお話を聞いてもらいたいと強く感じました。質問になりますが、ふわりさんが児童にお話しされる内容は、事前にもしくは事後に保護者へも伝えられるものでしょうか。

・命の〇〇や女性の体をしたという言葉選び、プライベートゾーンや性行を教える伝え方を聞いたのが良かった。授業で全てを伝えるには、考えて選択しないといけないですが、教頭先生が仰ったように、自分の引き出しとして持っておくことが今回の大きな得たものだと思う。

・本来なら、性教育やこのようなお話は、家庭の中でできたら良いなと思っています。また、家庭を巻き込んで学校で話を聞けるのが理想かなと思いますが、思いもよらない家庭環境の子や家庭に居場所がない子がいたりするとそれも叶わないのかもしれないかもしれません。

今日の様にゆったりと愛情込めたお話の仕方だと、話を聞いた子ども達はホッとする様な気がしました。

・日常生活ではなかなか聞けないお話をたくさんしてくださり、勉強になったことが多かったです。自分はもう大人なので知っていることだと思っていましたが、恥ずかしながら知らなかったり、勘違いしていることもありました。ありのままの自分を大切にすることが、周りの人も自分も幸せになれること、しっかり受け止めました。最後の映像には感動しました。命の誕生がいかに神秘的で奇跡の連続なのか。自分の命も人の命も大切にしていきたいと思いました。

・性教育のイメージの幅が広がりました。知識の伝達だけでなく、なぜそのようなことを知るべきなのかなど深いところまでお話いただき、とても貴重な時間でした。高学年を対象にしたデモンストレーションでしたが、とてもイメージしやすくそのまま講師としてお招きしてお話していただきたいと思いました。5年生はPUSH命の授業で、胸骨圧迫、AEDの使い方を毎年学んでいますが、今回の性教育のような内容も学校をあげて毎年やっていくべきだと思います。

・今回のお話を聞いて、性教育の大切さ・伝える内容・伝え方など色々と勉強になりました。ただ、今回の素敵なお話を自分ができるかと言われたら、難しいところもあるので、その時々の子どもの実態に応じて、ふわりさん方専門家にお願いしたり、自分たちなりにしっかり準備して伝えていくことが大切だと思いました。ありがとうございました。

・生きていること自体が素晴らしいという考え方が根底にあることで、性教育の在り方や子どもたちへの伝わり方も変わってくるのだと感じました。知識の伝達と同時に、子どもたちの自己肯定感や自己愛を幼い頃から育てていくことが、互いを尊重し合えること(性だけでなく)に繋がってくると思いました。

・小学校での性教育は、扱う時や場合によって、とても難しいものであると感じていました。今回の話を踏まえて、正直自分は、専門的な方から子どもたちに話をしてもらうことで、正確な情報をわかりやすく伝えるべきだと感じました。

・自分が出産した経験があるのでその時の思いや痛みなどを伝えられるけれど、正直自分のことをあまり言いたくない!という思いもあり…。そういうときには、ふわりさんをお願いすれば良いのかな?と思います。

・10年以上前に理科で受精の学習をした時、子ども達から「どうやって受精するの!?!」と聞かれ、その時にすごく悩んだ記憶があります。その時から性教育について疑問がずっと残っていました。今日お話を聞いて、子ども達に正しい知識を伝えていくことはとても大切だと改めて思いました。

・強姦性交罪に問うには、抵抗できないほどの暴行や脅迫を受けた際か、薬や酒を飲まされた場合などのどうしようもない状態でないと、「抵抗しなかったでしょ?だから罪には問えない」となってしまうという事実には衝撃を受けました。何かされましたが、た時にどう行動するかを教えることを継続的に行なっていく必要があると思いました。

・私の時代には、性教育などほとんど皆無に近く、男の子に「あなが2つしかないの?」という質問をしてしまったことを思い出しました。正しい知識があれば、お互いの性を理解できて、今の時代の子たちがうらやましく思いました。あと質問ですが、体の仕組みが女性でないと、助産師さんにはなれないのですよね?

・5年生の理科の「ヒトのたんじょう」で、卵子の中に精子が入っていく画像を観せましたが、子ども達はようになってこういうことが起こるのか疑問に思っていたかと思います。理科としては、生命が受けつがれていくとまとめ、行為については触れていません。今日のような授業を5年生にこの学習をしているときにしてもらえたらいいと思いました。たいばんにいらないものをわたすと教科書に載っていたのですが、赤ちゃんはおしっこをして羊水に出ていくと知り、5年生の子に伝えようと思います。出産のシーンは観せなかったのですが、今日の最後の画像は感動的だったのでこうやって誕生するのだと観せたらよかったです。

・今回の研修で性教育というものはただどのように赤ちゃんができるのか、男性と女性の体の特徴を知ると言うものだけではなく、自分の体を守るために必要であることと知りました。明るく、楽しく、爽やかにというように子どもたちの性に関する今までのイメージを変えることができたらいなと感じました。胎児について初めて知ることばかりで、子どもたちに実際行うデモンストレーションでなるほどと思えることばかりでした。

・小学校でも、中学校でも、高校でも教えてくれない。義務教育のうちに正しい知識を子どもたちに教えておくべきだと強く感じました。考え方を変えていく必要がある。

・正しい知識を得ることで、正しく受け止められることにつながると感じました。「話を聞いて、どんな風に感じて大丈夫だよ」というメッセージはとても大切だなと思いつつ、学級担任が伝えたことで不快な思いを抱かせてしまうと、その後の関係性に難しさが生じてしまうことも考えると、外部の専門家の方に今回のように授業していただけるのはとてもありがたいなと思いました。

・決していいことばかりではなく悲しいこともたくさんあるはずの、実際に命が産まれる現場で働く助産師の方々の言葉は、深く、あたたかく、それでいて強いメッセージを感じました。どの子も愛されて産まれてきたこと。今も、周りから愛されていること。ただ知識だけを伝えるのではなく、自分の言葉として子どもたちの心に届くような授業がしたいと改めて思いました。正しい知識を伝えることが、将来子どもたちが自分の体と心を守る力につながるなら、絶対に避けてはいけないと思いました。

・「帝王切開」の「帝王」の意味を後で調べました。

・今日は、ありがとうございました。わたしは自分が喘息のため大きな病院で出産しました。途中「助産院で生まれた子は穏やかで...」という趣旨のお話がありましたが、病院で生まれてきた子も穏やかな子もいるのではないかと...と思いました。

・おすすめの本をたくさん置いてくださり、ありがたかったです。五常小学校の図書室には性に関する本が少ないのですが、どんな本を買えばいいのか困っていたので、今後の購入候補に入れさせていただきます。

・性教育の授業のイメージが変わりました。知識の伝達だけでなく、生きるとはどういうことなのか、赤ちゃんが産まれるとはどういうことなのか、幸せとは何なのかなど、もっと幅広く考えなければいけないと思いました。本日はありがとうございました。

・性教育は人権教育。今日は、とても大切なお話を聞かせていただきました。こうして来ていただいている間、先生方の助産院には代わりの先生がいらっしゃるわけではないと聞き、驚きました。そうまでしてこのような活動を通して命の尊さを伝えようとしてくださるふわりさんに、心から感謝します。教えていただいたことを、また次に伝えていきます。重かっただろうに、たくさんの本も紹介するために持参していただき、本当にありがとうございました。

三重県伊賀市立成和西小の「包括的性教育」 生き方の幅広げる

2022年8月12日 15時30分 (8月12日 15時30分更新)

学習指導要領の制限などもあり、生殖や性感染症だけに特化している日本の性教育。対して世界では、国連教育科学文化機関（ユネスコ）が提唱し、人権や性の多様性などさまざまな観点で、低年齢から繰り返し性について学ぶ「包括的性教育」が注目されている。三重県伊賀市の成和西小学校では三年前から、この包括的性教育に全校を挙げて取り組んでいる。（寺岡葵）



生活科の授業で、好きな色について話し合う2年生の児童ら＝三重県伊賀市成和西小学校で

五月の授業参観。一～六年の全六クラスで理科や総合的な学習などの授業があった。事前に保護者にはこう伝えられた。「全学年で『生と性』をテーマに授業をします」

二年生は生活科。テーマは「じぶんらしく生きる～じぶんの好きな色～」。担任の坂本京子教諭（25）が、黒板にピンクの服を着た男の子と、黒い服を着た女の子の絵を張った。ある児童が「反対にした方がいい」と言うと、別の児童は「自分の好きな色にした方がいいと思う」。坂本教諭は「自分らしさを大切にしよう」と語りかけた。

低学年から繰り返し学ぶ

同小ではかつて、他の児童のズボンを下げたり、裸のイラストを見てこそこそと笑ったりする児童の姿があった。奥沢由起養護教諭（41）は「体がプラ

イベートなものと知らず、いやらしいものとする子もいた」と振り返る。

低学年から性や体について繰り返し触れることで、性は人それぞれで、自分の体は大切なものだと思わせたい。その思いでつくった包括的性教育のカリキュラムは、誕生やプライベートゾーン、性被害の防止などを学ぶ「体と命」、性の多様性や男女共同参画などを学ぶ「共生」の二テーマに分類。生活科や理科、社会などのさまざまな教科で、一年から六年まで切れ目なく学べるようにした。

2011年度 の授業例	体と命		共生	
	1年	2年	3年	4年
	学活 プライベートゾーン	生活 生い立ち学習	生活 家事・仕事調べ	生活 わたしの好きな色
	保健 体の清潔と健康	総合 自分の呼び方	総合 女っぽい、男っぽいって何だろう	総合 女っぽい、男っぽいって何だろう
	保健 思春期にあらわれる変化	総合 女っぽい、男っぽいって何だろう	総合 女っぽい、男っぽいって何だろう	総合 女っぽい、男っぽいって何だろう
	理科 ヒトの誕生	社会 メディアとの付き合い方	社会 メディアとの付き合い方	社会 メディアとの付き合い方
	総合 性情報(デジタルタトゥー)	社会 広がる基本的人権	社会 広がる基本的人権	社会 広がる基本的人権

授業は年間五～十時間ほどで、担任や養護教諭が受け持つ。学習指導要領で必修化されていない性教育の教材は少なく、手探りで進める。インターネットで調べて性に関する絵本を集め、板書の写真や指導案を学年別にファイルにまとめ、教員間で共有。助産師ら外部講師の手も借りた。

家庭でも話し合うきっかけに

授業参観に訪れた二年女児の父親は「家庭で性について話すことはまずない。学校できっかけをつくってくれてありがたい」と話した。小五～高一の三人の息子を持つ母親は「性行為の知識がある子もいるので、正しいことを教えてほしい」と要望した。

同校が包括的性教育に取り組み始めた二〇一九年に赴任した藤山秀公校長は「家庭でも話し合ってもらいたい大切なテーマ。学校がその突破口になれば」と後押ししてきた。奥沢教諭は「性教育と聞くと、性交に踏み込んで教えるイメージがある。そうではなく、自分の性や互いの違いを理解し、生き方の幅が広がるのが性教育だと発信したい」と語った。

包括的性教育 ユネスコが2009年に公表し、18年に改訂した性教育の指針「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」では、学ぶテーマを（１）人間関係（２）価値観・人権・文化・セクシュアリティ（３）ジェンダーの理解（４）暴力と安全確保（５）健康と幸福のためのスキル（６）人間のからだの発達（７）セクシュアリティと性的行為（８）性と生殖に関する健康

一と設定。5～8歳、9～12歳、12～15歳、15～18歳以上の各発達段階で必要な知識と課題解決力を身に付けることを掲げる。ガイダンスの日本語訳は、初版が17年、改訂版は20年に出版された。

田代美江子埼玉大教授に聞く 「人権が基盤」

包括的性教育の意義を、ユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」の翻訳に携わった埼玉大の田代美江子教授（ジェンダー教育学）に聞いた。



包括的性教育は基本的人権が基盤。生きていく上で性は無関係ではなく、性について学ぶのは当然の権利。知識を定着させ、発達段階に応じた内容を学ぶには、低年齢から繰り返すこともポイントだ。

一部では「寝た子を起こすな」との考えもあるが、子どもたちはインターネットなどにあふれる誤った情報にさらされている。将来必要となる知識をきちんと教えていくことが教育の役割だ。

性教育は、欧州連合（EU）では20カ国以上で必修化され、中国や韓国でも法律で義務づけている。ユネスコのガイダンスを参考にして取り組む国も増えている。

「歯止め規定」なくすべき

日本は学習指導要領で受精や妊娠には触れても、その「経過は扱わない」とする「歯止め規定」があるなど極めて後ろ向き。現場を萎縮させる歯止め規定はなくすべきだ。

性教育は必要だと認識する先生は増えていると感じる。重要なのは、性についてポジティブに語れるか。人生を豊かにする性教育の面白さを、より多くの先生に広めることが重要だ。